

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年5月14日(2024.5.14)

【公開番号】特開2024-3238(P2024-3238A)

【公開日】令和6年1月11日(2024.1.11)

【年通号数】公開公報(特許)2024-005

【出願番号】特願2023-195499(P2023-195499)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 0 7 B

A 6 3 F 7/02 3 3 6

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月2日(2024.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を備えた遊技機であって、

前記遊技盤は、前記遊技領域が前面側に形成された遊技板と、

前記遊技板に形成された開口に取り付けられる特定パートと、を備え、

前記特定パートと前記遊技盤の特定部位とを連結可能な連結線材を更に有し、

前記連結線材は、前記遊技板から前記特定パートが取り外された状態であっても当該遊

技機の下端よりも下方に前記特定パートが落下することを抑止しうるものであり、

前記連結線材の一端と連結される前記特定部位は、前記遊技盤の裏側に設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来より、遊技盤を備える遊技機としてのパチンコ機は、枠体に対して遊技盤を着脱可能に設け、古い遊技盤を新規の遊技盤に交換することで異なる仕様の遊技機に変更することが可能とされている(例えば、特許文献1参照)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

40

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2019-017568号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、上記した遊技機では、新たに遊技盤を作成する際に、新たな遊技板に形成された開口の形状に対応する部材が必要であり、遊技機設計を煩雑にさせていた。そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、その目的とするところは、遊技機設計を容易にして利便性を高めることができる遊技機を提供することにある。

10

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

20

本発明は、

遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を備えた遊技機であって、

前記遊技盤は、前記遊技領域が前面側に形成された遊技板と、

前記遊技板に形成された開口に取り付けられる特定パートと、を備え、

前記特定パートと前記遊技盤の特定部位とを連結可能な連結線材を更に有し、

前記連結線材は、前記遊技板から前記特定パートが取り外された状態であっても当該遊技機の下端よりも下方に前記特定パートが落下することを抑止しうるものであり、

前記連結線材の一端と連結される前記特定部位は、前記遊技盤の裏側に設けられることを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として以下の手段を参考的に開示する。

30

手段1：遊技機において、

「遊技球により遊技が行われる遊技領域を有する遊技盤と、

該遊技盤の前記遊技領域に遊技球を供給可能な球発射手段と、

該球発射手段により発射された遊技球を回収して再び該球発射手段に供給する球循環手段と、

を具備し、データ化された遊技者の持球データに基づいて前記球発射手段により遊技球を発射させるようにしている遊技機であって、

前記球循環手段は、

遊技球が流通する球通路と、

該球通路を流通している遊技球を検知するフォトセンサと、を有しており、

前記球通路は、

少なくとも前記フォトセンサが設けられている部位が、遊技球の中心よりも下側において2点で接するように設けられている」

40

ものであることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

50

このように、本発明によれば、遊技機設計を容易にして利便性を高めることができる。

10

20

30

40

50